

# 日奈久っ子



八代市立日奈久小学校  
学校便り 第12号  
令和元年12月26日発行  
文責 中村

日奈久プライド「えがお・やるき・げんき」

## たくさんの取組を通して成長を続ける子ども達～82日間の記録

82日間の長い2学期が終わりました。この間、子供達は、先生や友達と協力し合って、たくさんの授業やたくさんの行事に取り組みました。その一つ一つの経験は、楽しいこと、がんばったこと、うれしかったこと、辛かったこと等様々あったことでしょう。そのすべてが子供達にとって、大変貴重な経験だったことと思います。日奈久っ子は、確実に成長をしています。これも、日頃からの保護者の皆様のご理解と温かいご協力、ご支援のおかげだと思っております。本当にありがとうございました。そして、これからもよろしくお願ひします。

素直で明るい日奈久っ子の、今後の成長と活躍が益々楽しみです。



タグラグビー教室



1年



2年



3年



クリーン作戦



4年



5年



6年



持久走大会



4年 保寿寮交流



5年 集団宿泊



6年 修学旅行

## 『成功』の反対は『挑戦しないこと』

(終業式校長講話より)



「成功」の反対は何でしょうか？国語的にいうと「失敗」でしょう。しかし、人が生きていく上で、これは、本当の答えとは言えません。「成功」の反対は「挑戦しないこと」。「やりたい」「やらなくちゃ」と考えてやってみると、必ず何度も何度も失敗します。その度に落ち込んだり、いやになったり、たまには人のせいにしてみたりするかもしれません。それでも何度失敗しても「やりたい・やらなくちゃ」の心で工夫しながら挑戦すると、その度に少しずつかもしれないけど、何かが変わり、成功に近づいていきます。挑戦しなければ絶対に成功はしません。挑戦すると、失敗するのは当たり前のものであり、成功までに必ず通る道なのです。だから「成功」の反対は「挑戦しないこと」と言えるのです。

2020年(令和2年)という新しい年を迎えます。新しい年を迎えるに当たって皆さんは「今年の目標」を立てることでしょう。その目標を「実現したい」「実現しなくちゃ」と考えるのであれば、挑戦しましょう。

先生やお家の人から言われたことならなんでもできるけど…。言われたことや決められたことが素直にできることは、もちろん大切なことです。でもそれだけでは、将来、自分が思い描く、幸せな人生を送ることはできないのではないのでしょうか。

自ら気づき、考え、行動できる人になれるように、目標の実現のために何ができるかを自分で考え、挑戦する心を持続けましょう。



